

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 6 月定例会

2 開 催 日 時

平成 30 年 6 月 13 日（水）8 時 30 分開会 9 時 21 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、山津生涯学習課長兼図書館長、中島学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、古賀学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事、竹下生涯学習課参事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、栗山生涯学習課図書係長

7 傍 聴

3 人

8 経 過 報 告

5 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

5 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 10 号 鳥栖市立図書館運営協議会委員の委嘱について

【承認】

11 協議報告事項

（１）平成 29 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書（自己評価案等）について

（２）第 1 回学校運営協議会の報告について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 7 月定例会

平成 30 年 7 月 11 日（水）9 時から

鳥栖市教育委員会 6 月定例会議事録

○天野教育長

それでは皆さんおはようございます。昨日は非常に歴史的な米朝首脳会議ということでですね、1日も早く拉致問題が解決されるということを望みます。梅雨に入ったものの、今週は中休みというようなことで、今日は爽やかな天気恵まれております。こういうときはですね、学校は水泳指導に従事されるということで、よかったなというふうに思ってます。

今日は早朝よりですね、外部評価員であります伊藤先生、そして今年からお世話をかけております久留米大学教授の徳田智代先生のほうに傍聴していただきますけれども、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

本日が6月の議会中ということで8時半スタートになりましたが、今回はですね、一般質問が全部で16名くらいで非常に少なくてよかったなというふうに思っております。相変わらず学校教育関係が多くてですね、非常に関心も高いというふうなことで、しかし一方話を聞きますとやっぱり、いろいろ応援をしよう、バックアップしようという質問が非常に多かったということも含めて、実はあと1名残っております、今日10時からスタートということになります。ということで今日もちよつとばたばたとしますけど、よろしくお願ひしたいというふうに思ってます。

6月10日の日は鳥栖市教育の日ということで、委員さん方に参加していただいたんじゃないかなと思います。私は弥生が丘小学校の開校記念ということで、今日の西日本新聞にちょっと載っておりますけど、副田委員さんは田代中学校でマナー講演会ということでありがとうございました。学校もふれあい道德の授業であったりとかですね。それから、教科「日本語」の授業を工夫したりして、特に中学校はそういった授業を設定していただいたということで非常によかったなというふうに思ってますし、保護者の皆さんも非常に多くて、定着してきたのかなというふうに思っております。

それでは、ただいまより6月定例教育委員会を始めます。最初に経過報告をお願いします。

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。

経過報告について報告をしていただきました。行事等について何か御質問とかありましたら、いいでしょうか。はい。

次に議事録承認に移ります。議事録承認につきましては2ページに要旨が載っておりますが、別冊になっております。11ページにわたっておりますけど、しっかりまとめていただいておりますので、何かありましたら事務局のほうへお願ひしたいというふうに思います。

次に、議事に移ります。議案第10号鳥栖市立図書館運営協議会委員の委嘱について事務局お願いします。はい、山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。鳥栖市立図書館運営協議会委員の委嘱ということで、新任の方が1名ということになりますけれども、この協議会委員につきまして何か御意見御質問等ありましたらお願ひいたします。副田委員、何か運営協議会

に望むことあたりありませんか。

○副田委員

はい、ありがとうございます。やはり魅力ある図書館づくり、ということになるかと思いますが、目的をもってこの本を借りたいと思って足を運ばれる方もいらっしゃるかと、たまたま図書館に寄ってそこで紹介された本を手にとられる方もいらっしゃるかと思いますが。それで、どうしても本の充実だけではなくて、魅力ある図書館にするためにはレイアウトであったり、それから五感で感じるような空間づくりというのがとても大事になってくると思うんですね。ですから、以前も御提案させていただきましたように、ブックトークという 30 分以内で 5、6 冊の本をテーマに沿って紹介するという技法を御紹介したことがありましたが、それを司書の方が紹介しなくても、展示するような形で今月は「命」とか、今月は「雨」とかそのテーマに沿って、大人から子供の絵本そして写真集も、ありとあらゆる本をそのテーマに沿って展示するというような、そのようなコーナーがあるとたまたま立ち寄られた方が手にとって読んでみようかなというふうな感じで魅力ある図書館づくりにもつながるのではないかなと、ふと昨日思いました。以上です。

○天野教育長

はい、急に振りましたが本当にありがとうございました。鳥栖市の子供読書活動推進計画を昨年策定をして今年から実施ということになり、その中に図書館における子供の読書活動の推進というのがありまして、そういったことに対してここに委員がおられますので、しっかり委員からのお声を聞いてですね、活かしてほしいなという思いを強く持っておりますので、栗山係長またよろしくお願いします。議事についてはこの 1 点のみになります。

それでは次に、協議報告事項に移ります。まず最初に平成 29 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書(自己評価案等)についてお願いします。江寄課長。

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。詳しくはこの点検評価報告書案ということで、しっかり自己評価を書いていただいております。ダイジェスト版みたいな形で、6 ページ、7 ページに自己評価案ということで示していただけてます。ですから、委員の皆さんこの 6 ページ、7 ページあたりから何か御質問御意見等ありましたらお願いしたいと思います。いいでしょうか。はい、副田委員さん。

○副田委員

はい。7 ページですが、社会教育の中の図書館利用者、貸出冊数が昨年度よりも減少したという、これはどのような影響で減少したかということで、何か。

○天野教育長

はい、山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

これにつきましては、基山町の図書館のほうが新たに開設されまして、そちらのほうに基山町の方の利用が増えたということで、鳥栖市の図書館の方の利用が減ったというふうに推察をしております。

○副田委員

承知しました。では、基山の図書館ができたということで、これから先も鳥栖の図書館の利用者が少なくなるということが続いていくという懸念があるかと思いますが、そこでさらに魅力ある図書館づくりということで頑張っていただきたいと思います。

います。ありがとうございました。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤委員

はい。関連で、今の部分で自己評価、この部分は意識的に漠とした形の記入をされているんだろうなあというふうに思います。今の図書の方についても減少したとしか書いておられません。これは意識的なのかなと思います。次の人権教育についても一般参加、市民の参加が減少したとしか書いておられません。その下の歴史文化財にしても、主要部分の地権者の同意が得られなかった、こういうふうな記載の仕方をする、次年度も同じような記載をされるのかなというふうに、ついつい邪推してしまいます。本当いうと、分かりやすいような説明、相手の納得を得るような、書類であればいくらかいくらかになるというように数値化した方が、目標を設定するときには数値化してやられるのに、最終的な自己評価としてはこういうふうな、割と数値を用いないというのはどういうことなのかなというふうに思いました。

それともう一点関連で、主要部分の地権者の同意が得られなかったということに関しては、地権者がどれだけいらっしゃるのかがちょっとほとんど分からないので、地権者といってもほんの数名なのか、もっとたくさんいらっしゃるのかということもあって、あえてこういう質問をしております。これは意図的なものかどうかだけお答えください。

○天野教育長

はい、山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

はい、教育委員会の今日の資料の7ページにつきましては、自己評価案ということで簡単に書いておりますけれども、事務点検評価報告書の方には概要と自己評価のところで詳しく書いております。例えば、人権教育ということであれば31ページですけれども、研修者の参加数の今年の人数と去年の人数ということで、31ページの自己評価の欄の2行目のところに去年の数字が1,799人で、今年はちょっと合計数は書いておりませんが1,748人となっておりますので、そこで若干減少したというふうなことで表記はしております。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤委員

はい。それはちょっと見た上で申し上げたつもりでした。細かくこっちはいろいろ書いているのは分かります。ただこっちのほうにも、ポイントだけでもあった方が分かりやすいんじゃないかなというふうに思います。ちょっと思ったのが、議会に挙げたりするときには、当然細かく、こっちのほうでされるんだろうと思ったんですけど、ここのほうでよく審議するには、数値化されたものがあった方がいいんじゃないかなという意味でのお尋ねでした。今ので結構です。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。表現の仕方ということで、ダイジェスト版みたいな形でまとめてますので、もう少しその辺を工夫したらいいんじゃないかなというふうに思っておりますが、栗山係長、さっきから目線が合っておりますので、ちょっと図書館の件について言いたそうな顔をしています。どうぞ。

○栗山生涯学習課図書係長

図書館の実績について申し上げますと、平成 28 年度につきましても基山の町立図書館の新設に伴いまして、そのときは約 7%、利用者数についても貸出数についても減少をいたしておりました。昨年度につきましては、若干そこは緩やかになりまして、前年度比で約 3%程度の減少ということにはなっております。利用者の方々からのお声を聞きますと、やはり設備面とかで新しくてきれいで授乳スペースがある、子供用のトイレがある、読み聞かせ等がゆっくりできるスペースがあるというようなところで、やはり基山を使うっていう声を多く聞きます。ただし、まだ蔵書数とかにつきましては鳥栖市立図書館の方が圧倒的に優位に立っておりますので、先ほどお話がありましたように、特に児童書につきましてはお客様の興味を引くような選書をして、あと見せ方ですね、さまざまな特集展示ということで今取り組んでおりますので、特に子供さんたちの利用が減ることがないように、設備面だけで基山町立図書館に行くことがないように、鳥栖市立図書館も頑張ってもらいたいと思います。以上でございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。非常に委員さんも安心しておられると思います。はい、古澤委員。

○古澤委員

さらに私は援護をしたいと思いますが、数カ月前の図書館の審議があったときに、私は申し上げておりました。必ずしも、利用件数だけが評価の指数ではないんじゃないかなというふうに思ってます。もちろん、新しく近所にできたらそちらに流れるのは、もう世の常という感じがしておりますので、そういう中ででも一番大事なのは、顧客満足度をいかに高めるかということではないかなと思ってます。その中で従事されているスタッフの方々がいかに優しく、思いやりを持って接されるかということじゃないかなというふうに思ってますので、以前も言いましたけどあえて申し上げますとそういうことで、にこっとされている現場の責任者の方からすると、対応はいいんじゃないかなと思いますので、やはり鳥栖の図書館は優しいというふうなことで、流れた分は戻ってこられるんじゃないかなというふうに期待をしております。そういった人的なサービスをしっかりと、今後も継続していかれることを希望いたします。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。非常に温かな御意見いただきまして、本当によかったというふうに思ってます。他に、吉原委員さんいいですか。

それでは私のほうから一つ。特別支援の通級指導教室が増設されたということで、実は平成 30 年度もまた増設という流れがあったんですけども、その辺の解消につながったところについてもうちょっと詳しく説明をしていただきたいというふうに思ってます。

○平川学校教育課長

はい、御説明いたします。平成 29 年度、学びの通級指導教室、LD、ADHD等の障害のある子供たちへの通級指導教室でございますが、新たに 29 年度若葉小学校に一つ増設をいたしました。これまで、鳥栖小学校にあった 2 クラスのみでございましたが、29 年度に若葉小学校に一つつくりまして、通級指導教室のおかげで救われた子供たちも多かったということでございます。ただ、毎年就学相談には子供たちの就学に向けて、たくさんの保護者が相談に見えられます。したがって、平成 30 年度におきましても、県の方に申請をいたしまして、弥生が丘小学校に一つつくったところでございます。今年度の 5 月の第 1 回就学相談会でも昨年と同じくら

いの子供たちの相談を受け付けておりますので、また 31 年度に向けて頑張らなければいけないというふうに思っております。もう一つの課題といたしましては、中学生を対象とした学びの教室の増設に向けても非常に大きな課題だと思っておりますが、中学生におきましてはその発達段階からなかなか望まないところもあります。ただ、1 回つくってそこで学ぶ習慣といいますか、実績があれば利用者も増加するのではないかなと思っております。もう一つの課題といたしましては、その中学校の通級指導教室の指導者の育成、これが必要だなというふうに思っているところでございます。小学校におきましては、今御説明させていただきましたように増設することで解消につながっておりますが、中学校につきましては今後も課題ととらえ、検討してまいりたいと思っているところでございます。以上でございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。中学校をぜひつくりたいということで教育委員さん方からも御意見をいただいたと思いますし、対象は基里中学校ということで考えておりましたが、結局最終的に保護者の希望や承諾もいただく中でですね。やっぱりキャンセルといいますか、断られるとかもう行かないという親の方からの報告があったりとかいうことで、結局 13 名をクリアしなくちゃいけないというのがあるものだからですね。13 人を超すと今はもう、通級に関してはほぼ新設していただけないというふうな状況になってるような感じであるんですけども、それについては今後またしっかり、検討していかなくてはいけないというふうに思います。今は特に高等学校における通級ということが非常に話題になっておりますし、そのためにも中学校にぜひとも通級を創設していきたいというふうに思っております。

もう一つだけ、7 ページの歴史文化財のところでは勝尾城の話も出しましたが、今年が勝尾城のワークショップを行うということで今週の 14 日という流れになってますけど、その辺のところについての反省を踏まえた流れということがありましたので、その辺について報告をお願いします。山津課長。

○山津生涯学習課長兼図書館長

はい。勝尾城の本格的な整備事業につきましては、平成 25 年度に作成いたしました史跡勝尾城筑紫氏遺跡整備基本計画に基づき、現在葛籠城地区で進めているところですが、史跡の整備や活用を行政主導の整備計画のみで進めるだけでは、皆様に愛着を持っていただけるものにはなりにくいという指摘を保存整備委員会からいただいております。そこで、整備基本計画に基づく本格的な整備事業とは別に、さまざまな世代の方々にかんしてこの施設に親しんでもらえるかということを考えるために、史跡を積極的に活用する方策について現在検討を進めているところでございます。こうした中、その一つとしてさまざまな市民の目線でのアイデアが期待できる今回のワークショップの開催は、史跡の整備活用をより前に進めていくきっかけになるものと考えております。ワークショップの開催の目的といたしましては、勝尾城筑紫氏遺跡の保存活用に関して、利用していただく方の目線で積極的に検討実践する場を提供して、市民をはじめ来訪者が史跡に親しみ楽しむためのアイデアを募り、あわせて史跡に対する愛着を深めて、新たな輪を広げてもらうということが目的となっております。史跡の活用と将来について、史跡を楽しむ、史跡で遊ぶといったことから入って、積極的な意見交換の場を広げていけたらと考えております。今回のワークショップにおいては、女性、子供、SNS ということ 키워ドに進めていきたいと思っております。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今年の新しい取り組みということで一般質問の方にも出ておりましたが、市民の期待も多いということでこういった29年度の反省を踏まえてのという状況になりましたので、またよろしくお願ひしたいと思ひつてます。それでは委員さん他にはござひませんでしょいか。はい。それでは協議報告の点検評価報告書については終わりたいと思ひます。

それでは次に第1回学校運営協議会の報告についてお願ひします。平川課長。

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。4月の26日に、最初は合同、そして分かれて最終的にまた小中一緒にということで、コミュニティスクール自体は各小学校中学校分かれて運営協議会を行いますが、基里の場合は、基里中校区の流れは大きな校区の中でのコミュニティということも含めて、今後考えていかなきゃいけないんじゃないかなというふうに思ひております。主な塾議内容等は出ておりますが、皆さんから何か御質問とか御意見がありましたらお願ひします。いいでしょいか。はい、戸田委員さん。

○戸田委員

ひとつ教えてください。初めての学校運営協議会の会議だったと思うんですけども、9ページの話し合う内容についてというところに関することなんですけども、今後、この運営協議会をどう回していくのか、どういうテーマで話をするのかっていうのはどんなふう決めていくのか、当日集まって、この委員の方々が決めるのか、誰かがリードをして進めていくのか、その今後の進め方の方針みたいなのがこの場で話し合われたのかどうかをちょっと教えていただきたいんですが。

○天野教育長

はい、平川課長。

○平川学校教育課長

はい。小学校で言ひますと、8ページの上の方に協議会委員の氏名を2番として挙げておりますが、ここにコーディネーターとして名前を挙げさせていただける方がいらっしやいます。この方を中心にですね、この方が地域と学校のある意味で接着剤、ある意味で潤滑油になっていただいて、非常にエネルギーに動いていただいているところです。地域の方からの課題や疑問、それから学校からの困ったこと、そういうものをうまくつないでいただいているところです。先日私もこの方とお話をしたんですけども、非常によく考えていただいております。認識としては先ほど申しましたように、小学校の場合は大きな今年の目標としまして、児童の見守り体制づくりということで、早速、どこのポイントに何人立っていただくのかというような具体的なことも学校と地域と調整をさせていただいているところです。先ほど御質問のありましたこの会議の中でということでしたが、この会議も初めてで、どうやって進めていいのかということすらなかなか出なかったところですが、一つやることが決まりましたので、これに向けてこれもある、これはどうしたらとということで、このコーディネーターの方が動いてくださっている状況であります。それともう一つは、小学校の方としましては、先生方の負担が軽くなったという実感を職員にも味わわせたいというようなところがありまして、5年生でやっております稲の栽培ですね、これなんか水やりとかも大変らしいんですが、ここについてもですね、地域の方からボランティアで先生たちがしているところを私たちがしていいよと言ってこられた方を、このコーディネーターの方が探してきていただいて、

学校にもそういう情報を流していただいと。そういう小さいことも少しずつ始まっているかなというところでございます。以上です。

○天野教育長

戸田委員さんいいですか。はい。他にはいいでしょうか。はい、古澤委員。

○古澤委員

この事業そのものの重要性は、我々も学校教育課も認識されているということで、取り組みをされていると思います。特に、平川課長のことだから抜け目はないと思いますけど、それこそ今のお話ですと、各市内の学校では先進的に既に学校が地域との連携をうまくやってるなと思います。そういった部分も教えていただきながら、思っているところの方に導いていかれるんだろうと思います。このメンバーの方たちのコーディネーターの方が中心になるということは分かりますけれども、先生方の負担感を減らすことも大事ですけど、このメンバーの負担感も、なったけどどうしたらよかろうとかということでその方たちにばかり負担感を与えてもいかなのかなというふうに思います。少し活動してきて一定期間たって、変わりつつあるなとこの方たちにも実感してもらうことも必要じゃないかなというふうなのが1点と、例えば、この事業で最終的に要望が出てくる部分あるだろうと思います。人的なこと、いろんなバックアップのこと、市教育委員会学校教育課としてのスタンスっていうか、そういったことにどこまでお答えをする腹積もりをされてるのかというのも、お聞きできたらと思います。

○天野教育長

はい、平川課長。

○平川学校教育課長

はい。委員さんにつきましては、私たち以上に手探りの状態、ということをお聞きしております。そこで、8月に近隣の先進の市町のほうにですね、委員さんと一緒にお話を聞きに行く会を予定しております。最初はですね、教育委員会で話を聞こうともしてたんですが、それよりもできるならば、その地区の実際の学校運営協議会委員の方と立ち上げのときどうだったあだったとか、そういうことをですね、お話を聞いた方がいいんじゃないんですかっていうふうに、今コーディネーターの方に私の方から振っております。そういう機会をとらえてですね、実際にやってある他の学校運営協議会の委員の方に話を聞いて、つかんでいただけたらなということをお考えのところなんです。それから、各中学校区小学校区でそれぞれ地域との連携がでございます。小学校につきましては、先ほど言いましたように下校時の見守り体制ということで、これが進んでいる地域がありますので、その中心になっている方にも基里小がこうやってやっているの、情報提供をお願いしますというふうにお聞きしたところ、いつでも教えるよというようなことを言われたので、基里の方にもそういうこともお伝えをしたいなというふうに思っております。それから、地域からの要望につきましてはちらほらと聞こえてきております。それにつきましてもですね、我々も丁寧に耳を傾けて、できることできないこと、知恵を出し合ってやっていきたいと思いますというふうな機会も今後設けていく必要があるかなと思っております。以上でございます。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤委員

はい、さすがしっかり考えていただいているなと思います。質問しなくても今の部分については、例えば先進地視察とかいうのは、御説明も最初からいただきましたか

ったかなというふうに思います。それと、課題が出てきて要望とか出てきても、課題は課題として共通認識を持った中で、これからまた取り組んでいきたいと思います。ということで御理解いただけるんじゃないかなと。全て消化しきれなくてもですね、それは長い目で取り組んでいい姿になってほしいと思います。それこそ以前、通学区域審議会でも私も委員をさせていただきましたけど、基里中、素晴らしい学校なのに生徒数が少ないという課題は認識しておりますので、しっかりとやっていただきたいなと思います。これはエールでございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。しっかりうちの教育委員の皆さんも研修を重ねてそして皆さんの合意のもとにいきましょうと、コミュニティやりましょうというふうなことでスタートを切りましたが、こういう形で具体的に今年度スタートした状況です。平川課長の方から今までの流れ等も課題等も含めて、今説明がありましたけど、教育委員会としても委員の皆様方に状況を常に御報告をしながらですね、御指導もいただきながら実際に現場を見ていただきながらという形で、特にこれは重点課題ということでやっていきますので、またこれからは御指導よろしく願いたいというふうに思っております。それでは、ようございますでしょうか。はい。

先ほど私が議事運営のミスでですね、実は一つ、議案第10号について御承認いただいておりますので、この場で図書館運営協議会委員はこれでいいということで御承認いただくということでようございますでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、今後の予定をお願いします。江寄課長。

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今後の予定について何か御質問とかいいでしょうか。それではその他ですけど、はい、平川課長。

○平川学校教育課長

はい。今お手元の方にお配りしましたのが、教科「日本語」のこれまでの3年間ですね、先生方の実践を集めた実践事例集でございます。これは今年度各学校に配りまして、新しく鳥栖市にこられた先生方は教科「日本語」をどうやって教えたらいいんだろうかというようなことが非常に不安に思われている方もいらっしゃると思いますので、こういうのでイメージをつかんでいただきたいというふうに思っておりますし、他の学校の先生の取り組みをですね、取り入れて授業に活かしていただきたいという思いでつくっているところでございます。ちょっと何分冊数が少いのでございますので、後ほど回収させていただきます。申しわけございませんが、また御相談には教育長が応じるかと思っておりますので、どうぞよろしく中を見ていただければというふうに思います。

○天野教育長

ちょっと予算の関係でですね、手づくりで総務課のほうに印刷をかけてお願いをしたりして、もう非常にばたばたでそういう形でつくっております、一応全職員に配るというふうな形をとっております。ということで、よろしく願いたいと思います。

それでは、これをもちまして定例教育委員会6月の定例会を終わります。皆さん今日はばたばたさせましたけどすいません、ありがとうございました。終わります。